

月報 2021年 8月31日 No.367

石城山岳会

8月号

四方通信

石城山岳会事務局編集

川上溪谷遡行

ヘッポコの『塩見岳山行報告』

日本一のトラの山 虎毛山 (1,443m)

鳥海山 (2236m) 象潟コース

岩手山 (2038m) 柳沢コース

八幡平 (1613m)

川上溪谷遡行

7/15.16 に湯の岳の川上溪谷を遡行してきた。

15日は秋葉さんと沢の横についで登山道と沢の中を半分ぐらいずつ歩いて下見のような感じ。登山道からは明らかにゴルジュ地形のはっきりとした淵が確認できた。

16日は下山田さんとすべて沢の中の水線を歩く。

この日はザックも完全防水にして、ハーケンやバイルも持って、練習だ。

昨日見たゴルジュを泳いで突破しようとしたが、水が冷たくて断念した。

その後に出てきた大きな滝も取り付きまでは泳がなくてはならず、滝横のクラックをフリーで登る。その後ロープで確保して、二人が登る。

最後のなめ滝は、ヌルヌルで手足を踏んばって、なんとか通過。

落ちるかと思い、怖かった！

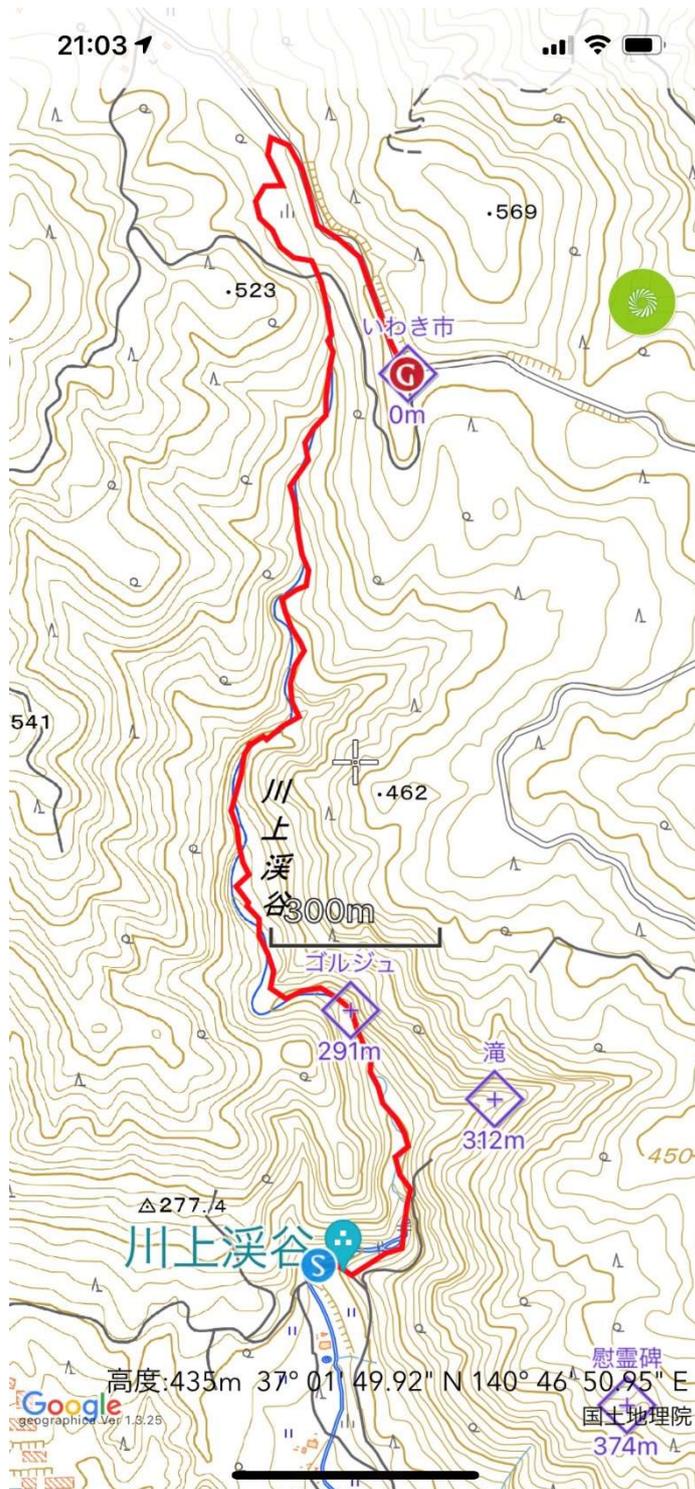
途中、ハーケンの打ち方や回収の仕方を練習。

沢歩きの練習には、手ごろな沢だと思うが、上流に行くほどドブ臭くなり、帰宅後、ザックやハーネス、ザイル、スリングまで洗濯した。

もっと暑くなったら、泳いであのゴルジュを突破したい。

文責 栗崎透





ヘッポコの『塩見岳山行報告』

2021.08.15 菅野靖

司日程7月17日(土)～7月20日(火) 天候晴れ

7月17日(土) いわき⇒常磐道⇒中央道⇒佐久市⇒茅野市⇒大鹿村⇒鳥倉駐車場(車中泊)

7月18日(日) 鳥倉駐車場 5:00⇒鳥倉登山口 5:40⇒三伏峠小屋 8:00⇒本谷山 9:30⇒
塩見小屋 12:00⇒塩見岳 13:30⇒塩見小屋 14:30(塩見小屋泊)

7月19日(月) 塩見小屋 5:30⇒塩見岳 6:30⇒塩見小屋 8:00⇒本谷山 10:00⇒
三伏峠小屋 12:00⇒烏帽子岳 13:00⇒三伏峠小屋 14:30(テント泊)

7月20日(火) 三伏峠小屋 6:00⇒鳥倉登山口 7:40⇒鳥倉駐車場 8:30⇒大鹿村⇒いわき
梅雨明けの晴天を狙い塩見岳に登る事が出来ました。塩見岳は、白峰三山縦走時に、登りそこねて以
来のリベンジ計画です。移動距離が長いのでなかなか計画出来ませんでした。

7月17日(土) 晴れ

いわきから大鹿村へ移動し、鳥倉第一駐車場(30台程度)で車中泊。下山組と入れ替えて駐車出来
ました。明日から登る、おじさん達と山談義をして就寝

7月18日(日) 晴れ

鳥倉駐車場から鳥倉登山口(1780m)までは、ほぼ一般道。樹林帯を登り三伏峠小屋(2589m)
到着。下山した登山者から登山路状況を確認し出発。塩見小屋までは、標高差177mを約3時間。樹
林帯を登る。晴天なので日差し避けにもなり楽な登山道でした。塩見岳山荘に到着すると白峰三山と
塩見岳が青空の中に見え、白峰三山絵巻の様でした。小屋受付を済ませ、ヘルメットを装着して塩見
岳に出発!天狗岩と言うジャンダルムのような岩を越え頂上へ到着。頂上は東峰西峰の二つの隆起が有
ります。深田久弥は、『富士山を美しく望むのに最も好適な所』と紹介しているが、そうは感じられな
かった。南アルプスなので、午後はあっとゆう間に霧の中に包まれてしまいました。夕方には、強い
夕立となりました。深夜に夜空を見上げると、星空と白峰三山が綺麗に見る事が出来ました。

7月19日(月) 晴れ

朝から塩見岳からのパノラマを見る為に、もう一度塩見岳に登りました。南アルプス、中央アルプス
を見渡すパノラマは最高でした。雲海の向こうに富士山も見えましたが、午前中で逆光となりシルエ
ットでした。三伏峠小屋でテントを張り、烏帽子岳(2726m)へ出発。頂上で大鹿村の70歳にな
るご婦人と会いました。『70歳の誕生日記念登山』との事でした。70歳になっても登れる何て羨ま
しい限りです。帰りに離れた(テント場から往復30分)水場で水くみテントに戻りました。

7月20日(火) 晴れ

テントを撤収し下山。コロナの影響で、大鹿村の温泉に入る事は出来ませんでした。残念(๑≥▽≤)



(文責 菅野靖司)

日本一のトラの山 虎毛山 (1,443m)

2021年7月23~24日
根本、秋葉、渡辺、甲高、小林



渡渉点後の急登
なくてヨカッター！



美味しそうなキノコ採取中
がありました。

7月例会山行は神室山縦走と虎毛山。残念ながら7/21-22は仕事を休めないため後半部分の虎毛山へ参加させてもらった。22日に仕事が終わってからルート途中の登山口まで1hrくらいにある道の駅(あ・ら伊達な道の駅)で車中泊しようと思いましたが、pm11に予定の道の駅に到着、駐車場も広く、車中泊風の車も30台くらいありました。

翌日は8:00位に登山口ということでしたが、きっと皆さん早いよなと思い、7:00到着目標で移動し、7時すぎに登山口へ無事到着しましたが、朝ごはんを食べて準備しようかなと始めたところで皆さん到着。いやー遅れ

準備が整ったところでスタートしました(下山田会長と山中さんは別動隊)。林道を登り始めて少しのところ、神室縦走が過酷だったため足裏のママが潰れそうとシェフがリタイア、容子さんと共に下山することになり、5名での山行になりました。

途中の渡渉点まで、立入り禁止の理由である登山道崩落のためか、川岸の石を踏みながら歩くところが2カ所(増水時はキビシイ)、沢側が崩れて細いところが数カ所(慎重に歩けば問題なし)

渡渉点の丸太橋を渡って、ここからが登山ですが稜線の分岐まで急登です





前日、前々日に比べると暑くないとのことですが、汗が止まりません。こういう時に限って風もない樹林帯歩きです。30minに1回の休憩でなんとか持ちこたえていましたが、避難小屋までもう少し（30minくらい）のところまで足がつりそうになり、ユルユル歩きで皆さんに遅れて避難小屋に無事到着しました。

ひと息入れてから、山頂と池塘へ向かいました。山頂は避難小屋の直ぐ横、そこから緩やかな木道を下って虎毛山の池塘です。



草原という感じのところに少し池塘があり、キンコウカ、イワイチョウ、モウセンゴケなどがありました。今日は、途中で止めたという方にあっただけで、山頂も小屋も貸し切り状態です。とんぼがたくさん居るおかげでアブなどの虫もおらず、ゆったり時間を過ごすことができました。小屋には銀マットも準備されており、2階に3名、下に2名で広々と使わせて頂きました。

少し昼寝をして、16時くらいから夕食です。今回は途中参加なので自分の夕食は持参していましたが、おつまみを少し提供しただけで、途中で採取したキノコと池塘の水から精製した水（色付き）入のヤキソバを頂き（もちろんお酒も）、19時過ぎに就寝しました。



栗駒山からご来光 もう少し

翌日は素晴らしい雲海でした。栗駒山方向が徐々に赤く染まってくるのもう一度池塘のまで行ってご来光を待ちましたが待ちきれず、小屋に戻って片づけをしている時に窓から外を見るとご来光が。久しぶりの山からのご来光、また、雲海や稜線にかかると素晴らしい景色に感動しました。

下山は登山道に張り出した笹などの葉が夜の雨（朝露？）で濡れたいため、汗か水か判らない状態になりましたが、無事下山できました。

スパ鬼首の湯で残留組と合流し温泉で汗を流した後、いわきへの帰路につきました。

今まで名前も知らなかった山、また、自分では行こうと思わないであろう山、比較的標高は低いもののしっかり歩かされた山で、またまた山歩きの楽しみ方の広さに気付かされた山行でした。



すばらしい雲海

【1日目】登山口 7:38～渡渉点 9:05～11:25 稜線分岐～12:45 避難小屋～虎毛山～池塘

【2日目】避難小屋 5:10～5:56 分岐～7:36 渡渉点～8:39 登山口 （文責 小林憲兒）

鳥海山（2236m）象潟コース

2021年7月31・8月1日（土・日） 西・菊地・太

銚立登山口で前泊して鳥海山の新山と七高山に登り、御浜小屋で1泊して翌朝下山。

前日午後2時半に市内を出発、日東道・酒田ICで高速を下り、鳥海ブルーラインで象潟口五合目、銚立まで登る。午後8時過ぎに前泊する銚立山荘に到着。山荘には、宿泊和室、談話室のほか、有料シャワー室、調理室（ガスコンロ有料、冷蔵庫）などある。9時消灯のため、軽く夕食後すぐに就寝。

翌日は、ゆっくり準備で、スタートが朝6時近くになった。登山道は、銚立展望台までコンクリート舗装、その先はおおむね敷石。低木の尾根道を登っていくと、周囲は笹原となる。ニッコウキスゲ群落の斜面を眺め、賽の河原を過ぎたあたりで、最初の雪渓が現われる。

さらに登ると、御浜で稜線に出る。御浜小屋で尋ねると、3名分なら宿泊可能とのこと、予約した御室小屋をキャンセル、こちら御浜小屋泊を変更。寝具や食料、食器・調理器具などを預け、身軽になって山頂を目指す。高山植物越しに周囲に雪渓を残す鳥海湖を眺め、御田ヶ原（扇子森）のお花畑を下る。敷石の登山道が終わり、八丁坂を登り返すと七五三掛である。さらに登ると外輪山コース分岐があり、千蛇谷に急斜面を下る。谷底で雪渓を渡って、後はひたすら御室小屋まで千蛇谷の中を登って行く。

御室小屋では、鳥海山大物忌神社の御朱印を受け、購入した冷たい飲み物と軽い食事で休憩。ザックを置いて新山（鳥海山頂）に登る。ゴツゴツとした岩を登って行くと、狭い山頂は賑わっており、何とか「2236m新山」と書かれた岩の前でグループ写真を撮る。胎内くぐり、雪渓下りを少しして戻り、ザックを回収。

御室小屋脇の谷間で雪渓の前を横切り、外輪山の急斜面を登る。稜線に出ると、外輪山最高峰の七高山は、すぐ目の前。山頂には、立派な山頂標柱のほか一等三角点（点名「鳥海山」2229.02m）標石がある。

七高山から外輪山コースを下る。尾根道だが、痩せた場所、岩場にハシゴもあるので、強風や雨の際は避けたいコース。特に千蛇谷側が切り立っており、谷底を覗き込むと、とても高度感がある。行者岳、伏拝岳、文殊岳の峰々を越えて、外輪山分岐から七五三掛に下り、御浜小屋まで戻った。

御浜小屋では、鳥海湖を眼下に眺めながら夕食を自炊、日本海に沈む夕日も眺めてから、早めに就寝。（御室小屋も御浜小屋も感染症対策で、宿泊者を定員の約半分に制限し、布団貸出しも停止中。宿泊には、マットなど、寝具が必要である。）

翌日の天気は、未明に雨の後は、ガス気味。さらに天気が崩れそうなので、笹ガ岳に登るのを止め、軽い朝食後に下山を開始。午前8時過ぎには銚立登山口に戻った。

文責：太

タイム

【初日】

5：55 銚立登山口→7：20 賽の河原→8：05 御浜小屋 8：35→9：00 御田ヶ原（扇子森）

→9：45 七五三掛→10：00 外輪山分岐→10：15 千蛇谷→11：40 御室小屋・大物忌神社 12：25

→13：00 新山（鳥海山頂）→14：10 七高山→14：35 行者岳→14：55 伏拝岳→15：25 文殊岳

→15:55 外輪山分岐→16:15 七五三掛→16:40 御田ヶ原 (扇子森) →16:55 御浜小屋 (泊)
【2日目】

6:30 御浜小屋→7:15 賽の河原→8:00 鉾立登山口



左から新山 (鳥海山頂) 2236m、御室小屋 (大物忌神社)・雪渓・七高山 2229m、行者岳 2159
m

岩手山（2038m）柳沢コース

2021年8月7・8日（土・日） 二瓶・菊地・菅野・太

岩手県の日本百名山を登る旅。初日に岩手山に登り、八合目避難小屋泊。翌朝に下山。

午前3時に市内を出発し、東北道・前沢SAで朝食。滝沢ICで高速を下り、馬返しキャンプ場に到着したのが8時過ぎ。駐車場は少し余裕があった。準備を整え、登山開始。

朝から日差しが強く、気温も高かったので、二・五合目から七合目までは、柳沢コース新道を登る。木陰が多く、旧道のような地面からの照り返しはないが、暑い。高度を上げるにつれ、樹々の間から麓の平野、北上の山々が見えるようになる。八合目に着くと、避難小屋の御成清水で冷水を補給。昼食後に小屋に荷物を置いて、山頂を目指す。不動平を抜けて砂礫の多い斜面を登ると山頂は外輪山の北側。足下を雲が流れ、八幡平や麓のスキー場などが時おり見える。山頂看板で写真を撮って、小屋まで戻る。せっかくなので男性2名はお鉢巡りをする。避難小屋前ベンチで自炊し、夕食後は早めに就寝。

翌朝は、美しい朝焼けを眺めているうち、出発が遅くなった。七号目からは柳沢コース旧道を下る。六合目から四合目あたりまで露岩や砂礫が多く、落石に注意。朝の太陽がまぶしく、照り返しもあって暑い。二・五合目で新道に合流すると、樹林の道を馬返しキャンプ場に戻った。

文責：太

タイム

【初日】8：40 馬返し登山口→13：30 八合目避難小屋→15：15 岩手山→16：10 八合目避難小屋

【2日目】6：00 八合目避難小屋→9：25 馬返し登山口



八幡平 (1613m)

2021年8月8日(日) 二瓶・菊地・菅野・太

岩手県の日本百名山を登る旅。岩手山を下山後にアスピーテ・ラインで八幡平へ向かった。

午前11時半頃に八幡平レストハウスの手前、無料駐車場に到着。レストハウス前の県境道標の脇、頂上入口から石とコンクリートの緩い坂道を登っていく。

少し行くと分岐があり、ドラゴンアイで有名な鏡沼の方に進む。真夏で当然ドラゴンアイでないのだが、鏡沼は深く水を湛え静かな佇まいだった。さらに進んで道が平坦になると木製の展望台が現れ、その傍らに山頂標柱と、三角点があった。山頂とは言え、あまりに平坦なうえ、樹木に囲まれ、展望台の上でも周囲の眺望はいまひとつ。近くにいたカップルに集合写真を撮ってもらい、八幡沼へ進む。

分岐まで行くと、展望テラスがあった。広い八幡沼、湖畔に建つ陵雲荘(避難小屋)、周囲の高層湿原が一望の素敵な眺め。下って陵雲荘に立ち寄り、沼を一周するように湿原を散策して見返峠に向かった。

見返峠に着くと、八幡平からの雄大な眺めが広がる。山頂レストハウス、藤七温泉を眼下に、岩手山は山頂が雲の中だが、畚岳の向こうにミツ石山に連なる峰々が見えた。眺めを楽しみながら最初の分岐まで下り、レストハウス脇、森の案内所に立ち寄ってから駐車場へ戻った。

文責：太

タイム

11:45 八幡平登山口→12:00 鏡沼→12:10 八幡平(展望台)→12:30 陵雲荘(避難小屋)
→13:10 見返峠→13:15 八幡平登山口

